

第一回検討会でのご意見について

【中浦地区】第一回検討会（平成 29 年 12 月 18 日）	
意見等	意見に対する対応状況
<p>騒音・低周波音による影響が一番懸念されるが、そういった影響が考慮された事業であれば問題ないと考える。</p> <p>【中浦地区（行政区長） 辻委員】</p> <p>今後の事業計画によるだろうが、風車が増えても騒音の影響は問題ないものなのか。騒音と風車の大きさや数との関係について具体的に教えていただきたい。</p> <p>【中浦地区 大串委員】</p> <p>風力発電機から発せられる低周波音にはどのような人体影響があるのか。</p> <p>【中浦地区 岸本委員】</p>	<p>第 1 回勉強会（平成 30 年 1 月 29 日）において、風力発電機からの騒音・超低周波音の影響について、説明。</p>
<p>伊佐ノ浦公園のコテージは夏休み等非常に利用客が多いが、候補エリアが非常に近く、騒音による影響が懸念される。施設や利用客に対する影響を検討していくべきではないか。</p> <p>【西海市情報観光課 福田課長】</p>	<p>第 1 回勉強会（平成 30 年 1 月 29 日）において、風力発電機からの騒音・超低周波音の影響について、説明。</p> <p>今後、地域貢献策の検討と合わせて、どの程度の騒音影響が許容されるかは協議が必要。</p>
<p>候補エリアの中に谷等で集めた水を各地区へ配水している水路が存在する。事業の実施により水路へ影響が出ないか心配である。</p> <p>【中浦地区 岸浦委員】</p>	<p>事業実施に際しての懸念事項となる。今後、事業の具体化に際しての留意事項として、整理。</p>
<p>西海市はアカハラダカの主要な渡りのルートとなっている。またツル類に関して、ほぼ全世界のナベツル 1 万羽程度は 2 月～3 月にかけて鹿児島から北へ移動するがその際に西海市の上空を通る。</p> <p>保護する立場から、西海市は自然豊かな場所であるので慎重に事業を進めていただきたい。</p> <p>【日本野鳥の会 長崎県支部：谷口委員】</p>	<p>事業実施に際しての懸念事項となる。今後、事業の具体化に際しての留意事項として、整理。</p>
<p>西海市観光協会では自然景観を売りにしているが、そこに人工物が建設されることに対する影響を懸念している。自然景観と調和できなければ問題であるが、新たな観光資源となりいい方向へ進めていければ良いと考える。</p> <p>【NPO 法人西海市観光協会 河野氏】</p>	<p>今後の地域貢献策等の検討に際しての課題として、整理。</p>

【江島地区】第一回検討会（平成 30 年 1 月 29 日）	
意見等	意見に対する対応状況
<p>陸上への影響は距離が離れているためあまり無いのではないかと考えるが、一方で漁師の立場として、漁業環境への影響が懸念される。その影響については考慮していただきたい。【江島公民館審議会(江島浜行政区長) 渡辺委員】</p>	<p>今後の地域貢献策等の検討に際しての課題として整理。</p>
<p>風力発電機設置後の環境影響が懸念される。先日の中浦地区検討会でも意見が出たが、地域住民としては騒音・超低周波音の影響が最も気になると考えられる。その点についてはしっかりとしたデータを示していただき住民の方の理解を得ていくことが重要だと考えている。 【西海市環境政策課 下田課長】</p>	<p>第 1 回勉強会（平成 30 年 1 月 29 日）において、風力発電機からの騒音・超低周波音の影響について、説明。 なお、具体的な環境影響については、今後の環境影響評価で実施されるが、「データの提示の必要性やこれに基づく住民理解を得ること」については、事業実施に際しての留意事項として整理。</p>
<p>海の中の状況をしっかり調べてもらいたい。一回だけの調査でなく、4 季の調査を何年かにわたって調査してもらいたい。 【江島公民館審議会(西海大崎漁協理事) 柏木委員】</p>	<p>第 2 回検討会において、冬季調査の結果について、ご説明。来年度も継続的に調査実施予定。</p>
<p>江島は過疎が進み、時間の問題だと考える。江島が風力発電の基地になれば、経済効果は大きいと考える。その場合は住民の理解が得られることを条件とし、全面協力したい。 【崎戸商船株式会社 木原取締役】</p>	<p>今後の地域貢献策等の検討に際しての課題として、整理。</p>
<p>行事については人が少なく実施できていない状況であり、他の場所から人が入ってきてそういった行事が実施できれば良いと考える。何をしても人が少ないことが現状であるが、そこが解消できることは陸上の観点から、最もありがたいことである。 【江島公民館審議会(青壮年部長) 宮崎委員】 西海市の高齢化が解消できるような取り組みができればよいと考える。 【西海市水産課 岸下課長】</p>	<p>今後の地域貢献策等の検討に際しての課題として、整理。</p>
<p>海洋に構造物ができることで多少のマイナスの面も想定されるが、魚を寄せるような効果を期待している。魚が集まってきて、江島周辺の海域では全国から釣客が集まる可能性がある。今後そういった漁場利用を進めていただきたいと考えている。 【長崎県中央釣舟業協同組合 山下代表理事組合長】</p>	<p>今後の地域貢献策等の検討に際しての課題として、整理。</p>

※中浦地区 現地視察における質疑応答

【中浦地区】現地視察（平成 30 年 2 月 13 日 中九州大仁田風力発電所）		
	意見等	返答内容
環境影響	<p>懸念事項：景観 発言者：長崎総合科学大学 池上特命教授 意見内容：風車が建つと景観が悪くなるという人もいる。</p>	<p>発言者：地域住民の方 内容：そういった話は聞かない。</p> <p>発言者：発電事業者 内容：工事中に苦情は発生していたが、逆に地元の方ではなく県外の方から観光にいられて「山を壊してるからまずいんじゃないの」という苦情があった。観光の話であると、県の出先機関がバイオマスや風力発電所といった発電所関係を見学する計画を立て、去年 20 人程度見学に来た。</p>
その他	<p>懸念事項：苦情の状況 発言者：長崎総合科学大学 池上特命教授 意見内容：<u>建設前は反対される方はいなかったということであるが、建設後苦情は発生していないのか。</u></p>	<p>発言者：地域住民の方 内容：8 基のうちの 5.5 基ぐらいは浄専寺、あと残りは南側の諸塚村の個人所有の土地である。送電線と埋設の工事を行い、変電所もできた。変電所は高千穂町の所有地であるが、そういった苦情は聞いていない。</p> <p>発言者：発電事業者 内容：工事中も山の残土が発生する。浄専寺の土地を残土置き場として使用した際に、<u>20 台程度のダンプが往復し、住民の方からほこりや道路の傷みに対する数件の苦情は生じていた。それはその都度事業者が対応した。</u> 工事の際の実情として、ダンプの速度を規制して 20 キロに制限した。また朝の 6 時半 7 時頃から生コン車が 2 時 3 時ぐらまで休みなく稼働していた。大型車が通ると対向車は交差できないため、ダンプの待機場所を複数確保しダンプ同士でやり取りしながらの工事を行った。</p>
	<p>懸念事項：通学路 発言者：長崎総合科学大学 池上特命教授 意見内容：通学路はなかったのか。</p>	<p>発言者：発電事業者 内容：通学路は一部あったが、そこは当然避けた。また速度を落とし、当初は朝の登下校時に横断歩道に警備員を配置してほしいという学校からの要望があったため、警備員を配置していたが、慣れたから良いということになり途中から外れた。</p>
	<p>懸念事項：事故の発生 発言者：長崎総合科学大学 池上特命教授 意見内容：事故は発生していないのか。</p>	<p>発言者：発電事業者 内容：事故は発生していない。</p>

【中浦地区】現地視察（平成 30 年 2 月 13 日 中九州大仁田風力発電所）		
	意見等	返答内容
地域振興	<p>要望：地域貢献 発言者：中浦地区 岸浦氏 意見内容：風力発電事業を誘致したことによって、土地の使用料のほかに地域へのメリットとしてはどのようなものがあるのか。隣の集落、そういうところに対しては何か貢献策のようなものはあるのか。</p>	<p>発言者：地域住民の方 内容：道路はよくなった。また地元からの要望として、例えば事務所がお寺付近の集落にあるが、その周辺の整備や、工事中には工事現場の廃墟になった施設をきれいにしてもらった等の要望には応えてもらっている。</p>
	<p>要望：地域貢献 発言者：中浦地区 岸浦氏 意見内容：中浦地区の場合も地権者には借地料が入るから良いが、隣の土地や地域の方に何のメリットもないため、そのあたりどういうふうに考えればよいか。</p>	<p>発言者：発電事業者 内容：一般的な話として、シンボルといった観光物がない中で、こういうものができたら住民としても喜ばしいという声も聞く。逆に昨年だけで風力発電所を見学に来られた方が県内外問わず 400 人程度いる。それに対して地元の方も地域の名前が売れてありがたいと言っている。</p> <p>発言者：地域住民の方 内容：地元の小学校を連れて現場を見学し、エネルギー教室の開催も行っている。</p>
	<p>要望：地域貢献 発言者：事務局西海市 意見内容：林業の後継者の状況はどうなっているのか。</p>	<p>発言者：地域住民の方 内容：農業も林業も後継者は少ない。林業は 50～60 年前にスギ・ヒノキを植え五ヶ瀬町は 70～80%が人工林となっている。これらの木材は安いと言いながらも、どんどん切って出している。林業は活性化しているように見えるが、切っていく林業が盛んであって、若手が少なく、植林の熱意も無いため植林はできていない。私の年代のときに苦労して植えた木が、5～60 年たって成長し現在出荷されている。今の機械化し、後継者はいるが、今後の再造林や育林に従事する若手がいらない。森林組合も現場で働く人を募集するが、なかなか確保できない。</p>
	<p>要望：地域貢献 発言者：中浦地区 岸浦氏 意見内容：風力発電所のメンテナンス工事があると思うが、風車の周りのメンテナンスは何名程度で行っているのか。またそれに伴い地元雇用は何名程度増えたのか。</p>	<p>発言者：発電事業者 内容：機械自体のメンテナンスは専属に 2 名来ているが、専門的な職業であるため地元雇用ではない。地元雇用は、夏は台風、冬は降雪で道路が通れなくなるため、その都度、隣町から建設業者に依頼し土砂の撤去や雪の撤去を依頼している。住民説明会の際に「草刈りでもいいからやらしてくれよ。」と住民の方から言われるが、まだ 2 年程度しか経過しておらず大きな草は生えてこず、支障がでる程度ではない。草刈りだけを例に挙げれば、年に 3 人で 3 日間くらいの依頼はしている。</p>
	<p>要望：地域貢献 発言者：長崎総合科学大学 池上特命教授 意見内容：現在事務所に勤めている職員はどうなっているのか。</p>	<p>発言者：発電事業者 内容：JRE の職員が 4 名と、メンテナンスの担当として日立の子会社の職員が 2 名いる。地元の間人は 1 名だけである。地元でも職員を探したが、ある程度専門知識が必要となるため、適した人材が見つけれなかった。</p>

【中浦地区】現地視察（平成 30 年 2 月 13 日 中九州大仁田風力発電所）		
	意見等	返答内容
地域 振 興	<p>要望：地域貢献 発言者：長崎総合科学大学 池上特命教授 意見内容：現在事務所に勤めている職員はどうなっているのか。</p>	<p>発言者：発電事業者 内容：JRE の職員が 4 名と、メンテナンスの担当として日立の子会社の職員が 2 名いる。地元の間人は 1 名だけである。地元でも職員を探したが、ある程度専門知識が必要となるため、適した人材が見つけれなかった。</p>
	<p>要望：地域貢献 発言者：長崎総合科学大学 池上特命教授 意見内容：設置工事や普通のメンテナンス工事のときも同様なのか。</p>	<p>発言者：発電事業者 内容：工事の際は鹿島建設と下請け会社となる。その下に伴う業者は、大きく分けると、県北の業者であり、五ヶ瀬町の住民は何名かといわれると案外と少ない。工事も大規模になってくるからある程度の企業、下請け業者でないと対応できないという現状がある。</p>
	<p>要望：地域貢献 発言者：黒瀬建設株式会社 末永課長 意見内容：地元で対応できることは地元で対応したい。ただ対応できることとできないことがあることも確かである。特に輸送ができる会社は西海市にないと思うが、土木工事であれば対応できる。</p>	<p>発言者：地域住民の方 内容：当初工事が始まる時に地元の業者を優先的に使ってほしいとの要望をだし、それは問題ないということになった。いざ工事が始まるとあまりにも規模が大きく、風力発電事業の工事の対応をすると町発注の仕事ができなくなるということになった。工事規模が大きく施工能力は地元企業にはなかったため、地元企業は手を引いた。生コンは地元の企業を採用した。</p> <p>発言者：発電事業者 内容：五ヶ瀬町の場合は交通の便があまりないため、工事に携わる人が 50～60 人ぐらいは、隣町に 1 年半ないし 2 年程度は宿泊していた。そのため旅館の方からは喜ばれた。また伐採は地元業者に依頼した。</p>
	<p>要望：観光資源 発言者：NPO 法人西海市観光協会 河野事務局長 意見内容：風力発電所を観光の目玉にしたいが、実際まだ見えないところもある。中九州大仁田山風力発電所付近の集落から風力発電所までは比較的距離があったが、中浦地区では割と近い場所が対象となっている。そういう施設、名勝になったら良いという希望はある。</p>	<p>発言者：- 内容：-</p>
	<p>要望：観光資源 発言者：事務局 AAS 意見内容：浄専寺のマークが風車に入っているが、どういった経緯があったのか。</p>	<p>発言者：発電事業者 内容：風力発電機の設置にあたり、会社のロゴだけでなく、お世話になっている浄専寺のマークを入れましょうという話になった。その結果 1 号機は五ヶ瀬町から見えやすいため五ヶ瀬町のマークを入れることとなった。</p>
	<p>要望：受け入れ条件 発言者：事務局西海市 意見内容：皆さんが風車を受け入れる、建設して良いという決め手になったことは何か。</p>	<p>発言者：地域住民の方 内容：最終的に判断したのはエネルギーが原子力発電で管理されているというところにある。東日本大震災がちょうど発生していたのでそういった点が一番である。</p>